

令和4年度第2回花巻市総合計画審議会（会議録）

1 開催日時

令和5年3月23日（木）

午前10時～午前11時40分

2 開催場所

花巻市大通り1丁目2-21

花巻市定住交流センター（なはんプラザ）2階 第1・2会議室

3 出席者

■委員出席者：14名

中村良則会長（学校法人富士大学副学長）、漆沢俊明副会長（花巻信用金庫理事長）、高橋照幸委員（社会福祉法人花巻市社会福祉協議会会長）、藤沼弘文委員（花巻工業クラブ会長）、佐々木博委員（一般社団法人花巻観光協会会長）、富澤正一委員（花巻市区長会会長）、伊藤清子委員（花巻市食生活改善推進員協議会会長）、関原信大委員（一般財団法人花巻市体育協会事務局長）、中島健次委員（花巻市芸術協会会長）、熊谷仁見委員（花巻市大迫地域協議会会長）、菅原康之委員（花巻市石鳥谷地域協議会会長）、松葉孝博委員（花巻市東和地域協議会会長）、川村厚委員（花巻市地域自治推進委員会会長）、村上純委員（連合岩手花巻北上地域協議会事務局長）

■委員欠席者：6名

高橋利光委員（花巻農業協同組合代表理事専務）、高橋豊委員（花巻商工会議所会頭）、浅沼由美子委員（花巻市地域婦人団体協議会副会長）、佐藤大介委員（花巻市PTA連合会会長）、中舘一郎委員（一般社団法人花巻市医師会会長）、安部修司委員（公益社団法人花巻青年会議所直前理事長）

■市側出席者：2名

上田東一市長、岩間裕子総合政策部長

■事務局：6名

総合政策部秘書政策課（富澤課長兼総合計画策定室長、伊藤課長補佐、村田総合計画策定室次長、八重樫企画調整係長、川村総合計画策定室主査、菊池企画調整係主査）

4 委嘱状交付

開会に先立ち、上田市長より新たに委員となる2名に委嘱状を交付。（欠席者1名分は後日送付。）

5 会議内容

(1) 開会

本日の審議会は委員20名中14名出席につき、花巻市総合計画審議会条例第4条第2項の規定に基づき、過半数の出席により本審議会が成立することを事務局より報告。

(2) 市長挨拶

【上田市長】本日は年度末のお忙しい中、令和4年度第2回花巻市総合計画審議会にご参集いただきまして誠にありがとうございます。

昨日のWBCはまだ興奮冷めやらない状況でございます。とにかく世界で一番という選手が花巻で育ったということ。これは現実のものともまだ思えない。ネットを見ていたら元レッドソックスでワールドシリーズ3回制覇に導いた、デービッド・オルティスと元ヤンキースの大スターだった、アレックス・ロドリゲスの2人から大谷くんがインタビューを受けているのがありましたけども、話の内容を聞いていてもすごいですね。子どものときに誰に憧れたかと聞いたらこの2人だとバシッと書いていましたね。それからケン・グリフィージュニア。言われてみるとその通りだろうなと思いましたがけれども、そう答えたとき2人のレジェンドが本当に満面の笑みになって大谷くんを抱きかかえるようにしていました。そういうことを言えるというのは一体なんなのだろうなというように思います。本当に最後は同僚の大スターから三振をとって世界一になったという、ハリウッドの映画の最後みたいなことをやる人がこの花巻で育ったというのは嬉しいなと思いました。子どもたちが今、本当に自分たちもそうなるって思っているというのはすごいですね。実際に花巻からプロの選手もたくさん出ているわけでございます。そういうことが今後子どもたちに良い影響を与えるのではないかなということをつくづく思った次第でございます。

そういう中でなかなか花巻市も厳しいところありますけども、頑張っていかなくちやいけないなと思っています。昨年12月にイリソ電子工業株式会社の新工場を花巻第二工業団地に建てていただけることとなりまして、昨日はその地鎮祭がございました。話を聞きますと、あの会社はコネクタを扱っているのですが、お客様の80%が自動車関連だということでございまして、その工場はコネクタを作るための金型を作るというものですけれども、将来的には拡張する予定があるということを社長さんはおっしゃっておられました。花巻市にとって非常に大事な企業さんが進出していただいたという状況でございます。

先日も大和ハウス工業株式会社が巨大な流通施設をつくるということで、これも地鎮祭がございました。あるいはイーエヌ大塚製薬株式会社が50億円かけて新しい機械を入れたいということのご依頼もございました。

そういう動きが今出ている中で、花南地区の産業団地の整備はできるだけ早く進めるということでギアを入れているところがございますけれども、現時点において企業の反応は非常に大きいものがございまして、このこともしっかりしていきながら花巻の将来を元気にすることをやる時期に来ていると思います。おかげさまで財政的には何とか回る状況でございまして、来年度当初予算については花南地区の産業団地だけでも7億円ぐらい計上しています。当然これは国の補助金を得られませんので市のお金でやらなくちゃいけないわけですが、売れるものでありますので、それをやっていくというようなことも考えていきたいと思っています。

その中で総合計画でございまして、平成26年の4月から現時点で現総合計画が実施されています。この総合計画自体は前の市長の元で、私が市長になる前に出来上がったもので、10年間の総合計画でありました。

この総合計画の中でその施策がどうなっているかということについては今日も皆さんにご説明させていただきますけれども、市の内部で職員がまとめて、それを踏まえた上で新たな8年間の長期ビジョンを作っていきたいというのが今の我々の考えでございまして、今年度、市民からのアンケート調査をさせていただいたり、あるいは23歳以上の方々、それからそれより若い方々それぞれについてのワークショップをさせていただいたりしました。こういうものを踏まえながら新しい長期ビジョンを作っていきたいということで、現在作業している最中でございまして、今日はその状況について皆様にご説明申し上げて、皆さんから忌憚のないご意見をいただきたいと思っている次第でございまして、今担当レベルで一生懸命頑張っておりますけれども、担当レベルを作っているものが全てではございませんので、まだまだ皆様あるいは市民の方々のご意見をいただいて、それを反映させて、将来の花巻をどうしていくかということを決めていきたいと思っている次第でございまして、その意味では今日の審議は我々としても非常に期待しているところでございまして、ぜひ、忌憚のないご意見をいただきたいと思っています。今の予定では長期ビジョンは本年の9月議会の承認をいただこうと考えています。また、その前から作業に入りますけれども、8年間の長期ビジョンに基づく具体的な事業を含めたアクションプラン、これは4年間のものを作っていくことを考えておまして、これについてはまだ具体的な手順は決めてないところでありますけど

も、長期ビジョンの内容が固まりつつあるときに、令和6年度からの4年間の前期アクションプランについても市民の皆様のご意見をどのような形でいただくかということも検討しながら、市民とともに新たなアクションプランを作っていきたいと思っている次第でございます。皆様にはそういう意味で大変な重責をお願いしているわけでございますけども、ぜひとも皆様の忌憚のないご意見をいただき、これを活かしていく形で長期ビジョンを作成していきたいと思っている次第でございますのでよろしくお願いいたします。

(3) 議事

【中村良則会長】議事を進めさせていただきます。第2次花巻市まちづくり総合計画の策定状況のうち、策定に向けた令和4年度の取り組み状況につきまして、担当課より報告願います。

- 富澤総合政策部総合計画策定室長から、資料No. 1「第2次花巻市まちづくり総合計画策定に係る令和4年度経過報告」に基づき、第2次花巻市まちづくり総合計画策定に係る市民参画の実施状況、庁内の取組状況について説明。
- 村田総合政策部総合計画策定室次長から、当日資料「花巻市まちづくり総合計画に係る政策及び施策の評価報告書（平成26年度～令和3年度）【抜粋版】」に基づき、現総合計画に位置付けた政策及び施策の評価結果の概要について説明。

【藤沼弘文委員】資料の2ページですが、関係団体の意見聴取というところがございます。ここに工業クラブが入っていないのですが、どうして入っていないのでしょうか。我々は多分来るのではないかと思って、一応準備していましたが、意見聴取がなかったということだったので、なぜ依頼が来なかったのかなというのがまず一つあります。意見はいろいろありましたけども、これは終わったことだから仕方ないとして、やはりこのように落とすところがないようにしていただけたらと思います。

【富澤総合計画策定室長】関係団体の意見聴取の場がなかったということでございますけれども、市民ワークショップの一般部門において、花巻工業クラブからの枠で委員を選出していただいております、そちらからご意見をいただきたいと考えたところでございます。

【藤沼弘文委員】この評価報告書抜粋版の方で、11ページに子育て環境というものがありますが、待機児童云々ということがありまして、小中学校ともに不登校の増加が目立っているといいますが、これはどのぐらい不登校が増えているのでしょうか。

【岩間総合政策部長】申し訳ございません。手元に人数まで把握した資料がございま

せんけれども、ここ数年で花巻市におきましても、全国や県の状況と同じように若干人数が上がってきているような状況です。ただし、発生率から見ますとまだ全国からは大きく低い状態ですし、県に比べてもまだ低いというような状況ではあります。

【藤沼弘文委員】花巻だけじゃなくて全体的に上がっているという認識ですか。

【岩間総合政策部長】不登校は非常に増加傾向にあるということで、国におきましても、学校以外での学びの場ということが重要だということで、現在、例えばフリースクールですとかそういう部分について国としても力を入れたいというような方針が示されている状況でございます。

【藤沼弘文委員】それに関連することですが、実は出生率が非常に下がっているということで、全国的に今大変だということですが、この出生率の低さはどうして低いのかというと、子どもを産んでも育てる環境が非常に大変だというのがアンケートにある。でも花巻の施策を見させてもらったのですが、かなり充実していますよね。

それでも、なおかつ子どもが生まれないというのはどうしてだろうと考えたときに、ある書物の中にありましたけども、昔は子どもを育てる環境があったと。何の環境があったかということ、おじいちゃんおばあちゃんがいて見てくれる人がいたと。ところが今は全然見てくれる人がいないから、要するに産むにも産めない、どこかに行くにも行けないという、こういう状況が非常に多いということが書かれてありました。

ですから、もしも子どもを産み育てる環境作りとすれば、おじいちゃんおばあちゃんは核家族になってしまっただけで今さら云々ということにならないかもしれないけれども、やはり市で若いお母さん方がどこかに行きたいときに子どもを預かってくれるような場所を作ってあげたならば、出生率増加に貢献するのではないかなと思うのですが、ここを見るとそれがすこし欠けているのかなという感触がありますので、この辺を充実した施策を盛り込めばいいのではないかなという思いでお話しました。以上です。

【中村良則会長】その点について何か答えることがあればお願いします。

【村田総合計画策定室次長】はい、ご意見ありがとうございます。今の例えばお父さんお母さんがお買い物など必要なときにお子さんを預けられる環境ということでございますけれども、現在行っている取り組みといたしましては、まなび学園の中に設置しているこどもセンターの中で、ファミリーサポートセンター事業というものを実施しております。これは冠婚葬祭も含めてお父さんお母さんがそういった用事を足す場面で、お子さんを預けることができるという会員制の事業でございます。けれども、会員の数などの都合で、十分に対応できている状況とはなっておりませんので、そういった

充実も含めて、今後の事業展開についても検討していければと考えているところでございます。

【中村良則会長】他にいかがでしょうか。

【伊藤清子委員】1ページ目にありますワークショップの概要というところですね、対象の②のところに市内全体の23歳以上の市民から無作為抽出した400人のうち、応募のあったものとして17人が参加したということですよ。これは想定内の人数だったのでしょうか。あるいは、これはあくまでも募集なので応募は自由ということなのであれば人数に関してさほど関係ないことはわかるのですが、この人数を見るとなにか市政に対する一般市民の関心の薄さがすごくここに出ているのではないかなと思いましたが、どのようにお考えでしょうか。

【村田総合計画策定室次長】ありがとうございます。今回400人に対して17人ということございまして、今回市としてはこの総合計画の取り組みとして初めてこのようなやり方を実施したところでございます。広く公募として呼び掛けるという方法もございましたけれども、あらかじめ市民ワークショップという機会があることを市民の皆さんにご案内して、その中で参加いただければという趣旨で実施したものでございます。

そしてこの17人という数字がどのような数字かという分析でございませうけれども、無作為抽出で参加者を募るという方法につきましては、先進事例がございまして、例えば東京の三鷹市などでもこのような形で実施をしているということございまして、そちらの事例を参考にいたしますと、ご案内した方に対して概ね5%ぐらいの方が手を挙げてくるというような傾向があったというところがございますので、400人の募集に対すれば20人の応募を想定したところでございまして、それを踏まえると17人、20人から少し欠けておりますけれども、概ねこちらが期待する方々がご参加いただけたのではないかなと捉えています。

【富澤総合計画策定室長】人数については今次長が申し上げた通りでございまして、無作為抽出によってその中で希望された方を参加者としてワークショップを開催してきたというこのやり方ですけども、これまでは公募委員ということで参加を希望する方の手挙げ方式でやってきたところです。

市民意識アンケートもワークショップと同時に実施しておりましたけれども、やはり総合計画の認知度といいますか、それが市政というところに繋がっていくのだと思うのですけれども、残念ながら、「計画はあるけど中身はわからない」とか、「計画があることを知らない」とか、多いことが想定されたものですから、これを機会にできるだけ総合計画の策定や市政に興味を持っていただける人を増やしたいという想いもあって

このような手法をとらせていただきました。

【中村良則会長】 よろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。

【川村厚委員】 花巻地域自治推進委員会の川村といいます。本来であれば今日農協の人が来て話すべきことかなと思うのですが、私も農業団体に所属しておりますのでひとこと、願ひ的なこととお話したいと思います。

今の周りの農地を見た場合によく聞かれるのは、集落営農の農業法人化とご存知の方はいるかと思いますが、あと二、三年でこれは解散しなさいということなのですね。全部会社にしろと。要は税金を支払う体系に持っていきなさいというスタイルで行くわけですが、今中心となっているのは俗に言う団塊の世代の方々、ちょうどあと3年、4年となると75歳となりほとんどあるいは半分の方は後のことは知らない、解散すると言っている。そうして、自分たちは個人的にもう国からの莫大な補助金もらっていい機械も買ったので自分でやれる分だけで後は知りませんという方々がほとんどなのです。75歳と言えばもう俗にいう敬老会に招待を受ける年代に入るわけですね。ある程度今までの農業法人というのは税金がかかりませんから、もう極端なこと言えば、かなり隠し金を持ってやめるといふ方々がかなりいるといひます。

多分、農政課などは知っていると思うのですが、やはり今から方向性を見て手を打っていただかないと。解散されたあとの農地をカバーする役割を担うだけの人間を育てているかというと私が見る限りでは1割もいない。今はいいですが、8年計画とかであればやはりそういうことも踏まえたことをもう少し出していただかないと、これはただ農業関係にとっては絵に描いた餅ですよね。

それからもう一つが花巻で暮らし農業をしていく上で一番大切なのが水です。水は皆さんもご存知の通り、北上川水系豊沢ダムから水源をいただいています、ご存知の通り豊沢ダムというのは2回転半を1年間に行うダムなのです。このようなダムは岩手県ではここだけです。よそのダムは今の時期に1回貯めたら秋まで持つ。だからそういう事も踏まえて農業をしないといけない。また、大丈夫だとまだ持つとは言っていますけども、あのダムは50年以上経っていますのでなんとかしていかないといけない。花巻で農業をやる上での不安要素だけがいっぱいあるのです。

値段が安い高いはいいのですよ。これはしょうがないです。どの産業でもあるわけですから。それは数だけの力を持って頭を使えば乗り切れるわけですから。ですがやはり違う要因というのは市としてもいろいろ作業の中で考えてほしいかなというのが意見です。

【中村良則会長】 今のようなご意見について、ただ、片方ではそういうのはもう差し

迫ったことだから農協も含めていろんな関係する人たちで話し合っているのではないかなとも考えられます。

【富澤総合計画策定室長】ありがとうございました。この場で具体的に何に取り組みますとまではお話しはできませんけれども、今後、長期ビジョンの内容ですとか、具体的な取組を位置付けるアクションプランの策定に向けて、いただいたご意見を担当部署と相談しながら取り組めるものを盛り込んでいくこととさせていただきたいと思います。

【中村良則会長】その辺は本当に基本的な考え方ということに恐らくなと思います。反映できる形でまとめればと思います。他にいかがでしょう。

それでは気づいたことがあれば随時ご発言して結構ですので、少し先に進めたいと思います。続きまして議事の（１）の②で長期ビジョンの骨子案について担当課からご説明お願いいたします。

- 富澤総合政策部総合計画策定室長から、資料No. 2「第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンの骨子（構成）【案】」に基づき、第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンの構成案について説明。

【中村良則会長】長期ビジョンの骨子案ということです。序論から第6章までと参考資料という構成になる。そのうち第6章の重点施策推進プロジェクトは今回新しく位置付け、それから第一章の理念というのも今までなかったものということです。全体の構成が出ているわけですが、この構成案について現時点で何かご質問、ご意見あればお願いいたします。

【松葉孝博委員】この順番ですけれども、さっき藤沼委員からもお話しがありましたが、重点施策推進プロジェクトで人口減少の対策を盛り込むのはすごくいいことだと思っていて、花巻市がこれを重点の一番プロジェクトにするというのは素晴らしいと、私はすごく期待しています。それも踏まえて、できることなら第6章ではなく、私の意見では例えば一番上に持ってくるとか、上の方にドンと掲げてこの重点プロジェクトは長期ビジョンの目玉でやるというような意気込みでそれを成し遂げるためにこういうことがある。こういうことがあって最後これを重点にやるというのではなく、人口減少対策を重点プロジェクトにして、これを実現するために具体的に何をしていくという構成とするとみんながそれに向かっていくのだと。スタイルというか働きというかが分かりやすいと思うのですよね。ぜひそのようにして本当に特化して取り組んでいただければなと思っております。

【中村良則会長】もし松葉委員がこの構成の中で今おっしゃったように子育てのところを持ってくるとするとどこに置きますか。

【松葉孝博委員】理念の下か上、第1章でもいいと私は思っております。

【中村良則会長】そのようになるのかまた別ですけども、そういうお考えだというこ

とです。この点どうでしょうかね。他の方々のご意見もあれば。

【富澤総合計画策定室長】ありがとうございます。これは骨子案ということでございまして今後検討させていただきながら、その中身についても考えさせていただきたいと思います。

【中村良則会長】具体的な提案ということです。他にはいかがでしょうか。全体の構成、内容についてもどうでしょう。まだ構成案だから特に具体的にどうこうという話はしにくいと思いますが。

僕から一つ、第3章について。まちづくりの視点というのがあって本市を取り巻く社会情勢として三つポイントが挙げられているわけですね。一つは人口構造の変化、少子化と長寿化ですね。社会の変化として脱炭素社会とかデジタル技術の進歩と新しい方向性、それから暮らしの変化ということで多様性や共生社会という。そして減災対策と、どれも重要なことだし、それから未来に向けて取り組むべき課題とされている妥当な指摘だと思うのですが、このそれぞれについてこの長期計画の中ではどういう形でこの課題に取り組んでいくというふうに反映されるのか、具体的に一つひとつの施策でやるとなるのかもしれない。その辺少し現時点で分かることがあれば教えていただければなど。基本的な方向性はこんな形で取り組んでいくという課題は提起されているのですよね。その課題に対して市としては基本的にはこういう方針で対応していくのだと。そういう分かりやすい取り組み方針とか、あるいはまちづくりの取り組み、施策とか。こういう形で提案されると僕自身にとってはわかりやすいかなと。

【富澤正一委員】私はこの流れでいいなと思っておりました。なぜかという、ビジョンですから流れがあるわけですよ。最初はやっぱり理念がないと駄目ですよ、第1章だから。それからこれまでの評価、そしてどんな視点で今後取り組んでいくのかという視点で、構成を見出してやると。その後、都市未来像についてはまあ後ろでもいいのだけれども、市長が住みたい、住み続けたいまちづくりとか、そういった形のまちを作っていこうということですので。第4章の位置については少し私のはっきりしませんけれども、これまでのいろんな意見から何から考えてみて、こういう基本方針で考えていくと。その結果、こういった重点施策としてこれだよと。ここには一点しかなくてないわけですけど、最後の市民意識アンケートの評価を見ても、重点施策は何だ、重点的に何を考えているか、そして特に不満足なものは何なのか、その中を見ると子育てもあるけれどもこの中で見ると非常に突出しているのが商業の振興というところである。ところが商業の振興が重点施策や重点項目の中に入っていないので私はあれと思っております。ですので、そういった流れで結局ここだよというところを重点的に示

してあげるとというのが大切なことではないのかと考えます。この総合計画について「内容は知らない」、「まったく知らない」と、どこかに書かれておりました。私もそうだと思います。私も区長をやっている意識があまりなくて大変申し訳ない。ただ、各分野の方々がその分野について非常に詳しく知っておりますので、そこをいろいろ施策の中でうんと色濃く出していただきながら、人口減少があるわけですから、子育ての方でも問題がある一方で、花巻市の発展とか住みよいまちづくりをするためにはやはり市街地といいますか商店街ですか、商業の振興とか観光の振興というのでしょうか、この2点が多くクローズアップされておりましたから、そこから何とかうまく一つでも二つでも長期ビジョンで取り上げればいいのかかと私はそう思っております。

ですから普通、流れを意識すると骨子案のような構成となると思っております。以上です。

【中村良則会長】 どうもありがとうございました。僕なりにまとめると、まず重要なことはメリハリある形で提起して、その中で特に中心商店街の活性化と観光の二つはやはり花巻にとっては重要な課題だからもっと前面に出すべきだというご意見ですね。もっともだと考えます。

【富澤総合計画策定室長】 まず、最初に中村会長のお尋ねにありました、第3章の1の本市を取り巻く社会情勢に挙げられた三つの項目における今現在の考え方はすけれども、国内の情勢がどうなっているのかということと、あとはその中で花巻市にはどういった影響をもたらされているのだというところですね。ここの部分について、例えばその影響に対してどのように花巻市が取り組んでいくかということまで書ききれぬかどうかは少し検討させていただきたいと思っております。具体的に何をやっていくのかとなりますと、アクションプランに近いところもあると思うので、そちらも少し見据えつつ、考えさせていただきたいと思っております。

それから、富澤委員からご意見をいただきました、市民意識アンケートの結果によると、商業の振興と観光の振興などについてということになると思われますが、重点プロジェクトの中で関連してくると思われるのは、（仮称）花巻で暮らそうプロジェクトの中の中心市街地の活性化という項目として入ってくるであろうというふうに考えてございまして、そちらに具体的な施策として関連してくるものはどのようなものがあるかについては、これからということでございますので、今後の参考にさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

【中村良則会長】 よろしいでしょうか。他にはありませんか。

【藤沼弘文委員】 いつも、中心市街地とはどこを指して考えているのでしょうか、そ

こが問題だと思えます。というのは、やはり50年経つとまちは全部変わってしまうということを言われているのです。私は花巻に来て最初の頃に上町の活性化、中心市街地の活性化というので委員になったことがあるのですが、上町の前はどこなのかと聞いたら鍛冶町だとおっしゃるのですよ。鍛冶町の前はどこなのかと聞いたら四日町だとおっしゃるのですよね。四日町の前はどこなのかと聞くと一日市だとおっしゃる。そういうようにまちとは必ず動いているのですよね。皆さんが考えている中心市街地とはどこでしょうか。では、金額の一番高いところであるとしたら、土地の一番高いところは星が丘ですよ。今、実際に上町の値段と星が丘の値段を考えたら星が丘の方が高いです。中心市街地というのは、そこに住んでいる今の人たちが必要なところが中心市街地になっていくのですよ。それから花巻ではないけれども、盛岡市で今から50年前に松園ニュータウンというものを作りました。行ったことある人がいらっしゃるかわかりませんが、今はほとんど人が入っておりません。ならば花巻の中心市街地というのはどこなのかということで、中心市街地は動くものだということをみんなで考えなくてはならないのですよ。

それから、もう一つよくないことは、花巻の街中だけを考えている。やはり3町1市で合併した東和町や大迫町だとか石鳥谷町だとか、それらも全て花巻市ですよ。花巻も東和町も中心市街地があるし石鳥谷町も中心市街地がありましたよね。もう少し今住んでいる人はどうなっているかということを考えながら計画を策定しなきゃいけないということを意識しなくてはいけないのでは。どうしても目先だけにとらわれて花巻だけ花巻だけというのは良くないなと思えます。ですから、相対的に見てこれは非常によくできているわけですが、どうしてもこういうものは総花的に作るしかないから、それはそれとしていいけれども、やはり策定するときには、せっかく合併した地域の人たちと花巻の中心に住んでいる人たちが一緒になってどうやってやったらいいのだということを考えなくてはいけない。やはり次の人たちにまちを渡してくという考え方が必要ではないかと思えますよ。

今、花巻に住んでいる人たちが東和町に行くというと、道は分かるからすぐ行ける。大迫町でも一応分かるから行ける。一方で全然遠くから来た人が東和町や大迫町に行くといっても地図を見なくては分からない。これをやはりせっかく3町1市が合併した花巻市なのだから、誰が来てもこの道路をいけば東和町に行きますよ、この道路で大迫町に行けますよというような、そういう総合的なことを考えなきゃいけないと思っております。これは単なる意見ですので、回答を求めませんが。

【富澤総合計画策定室長】ありがとうございます。参考に、現総合計画では、商店街の再生という施策がございまして、そちらで位置付けている中心市街地とか商店街には花巻地域だけではなく、大迫町や東和町、石鳥谷町も含めたそれぞれ四つの商店街を位置づけて、例えば顔づくり事業などの事業を展開しているということをご紹介させていただきます。

【中村良則会長】大切な視点を指摘されたかなと思います。他にこの長期ビジョンの骨子案というところでご質問ご意見いかがでしょうか。もしなければ次に進みます。(2)花巻市まちづくり総合計画第3期中期プランのローリングについてご説明をお願いします。

- 八重樫総合政策部秘書政策課企画調整係長から、資料No. 3「令和5年度花巻市まちづくり総合計画第3期中期プランローリングについて」に基づき、ローリングの概要や主な内容、財政見通し等について説明。

【中村良則会長】中期プランのローリングと見直しの追加ということで、財政見通しについても報告されました。この点について何かご質問ご意見等ございますか。全体を通して何かお気づきの点があれば一言でもお願いします。

【高橋照幸委員】一つお尋ねしたいことがあるのですが、人口減少だということの中で花巻市にも若い方々がいて学生さんもいるわけですが、花巻市として高校生の方々が花巻に就職する定着率といいますか、就職率といいますか、それらは大体どのぐらいになっているのでしょうか。

【岩間総合政策部長】大変申し訳ございません。高校生の就職の人数については本日手持ちの資料がございませんので、後ほどお答えさせていただきたいと思いますが、市内への就職を希望する生徒さん、またはその他のところへの就職を希望する生徒さんの就職率は極めて高いということで、市内に希望する方については全て就業できているというようには聞いております。

【補足】管内高校生の就職状況について

令和5年3月高卒予定者の就職内定状況（R4年12月末現在）

※記事掲載数値およびハローワーク（花巻・北上・水沢）へのヒアリングにより算出

| 地域 | 就職希望 生徒数 ① | 内定者数 ② | 就職内定率 (全体) ②/① | 県外 就職者数 | 県内就職数 | | 管内就職 の割合 ③/② |
|----|------------------|-----------|----------------------|------------|---------|-----|--------------------|
| | | | | | 管内 ③ | 管外 | |
| 花巻 | 161人 | 161人 | 100.0% | 19人 | 71人 | 71人 | 44.1% |

【高橋照幸委員】就職率が高いということは大変いいことですが、いずれ子どもの生まれる数が少なくなってくるので、極力花巻市外に行かないで地元で就職して

いただける方法というのが一番いいのかなと思うのです。どうしても高校から大学に進んで東京の方や関西の方に就職してしまうということは、せっかく地元で一生懸命お金を注いでですね、育てた人材が他に行って就職してしまっただ元が衰退するというのは何か不合理だなといつも感じています。

やはり地元の中で、そういう方々を受け入れる体制、商業の振興、それから工業の振興も農業の振興もその通りですが、そういうことも含めながら、若い方々が地元に着定していく部分を増やしていかないと、この先高齢化になったときに担い手がないと。福祉の現場でもいつもそうですが、なかなか担い手がないからとサービス提供ができないということになってくると、全体的に皆衰退してしまうので、若い方々が花巻に着定できる方法に力を入れていただければ大変ありがたいなと思っておりましたので、ぜひよろしくお願いしたいと思います。以上です。

【藤沼弘文委員】花巻市の高校生の就職率は非常にいい。私たちの会社でももっと来てもらいたいと思うのですが、やはり今は人がいない状況ですね。

今、一番私達が困っているのは、キオクシアが1兆円の規模で工場を増設しています。今かなり条件をよくして1,000名の募集をかけているようですが、なぜか300人ぐらいしか集まらないということで、あと700人を集めるということで、これから大変になるのではないかなと思いますけれども、なぜキオクシアでそんなに就職が思わしくないかと言いますと、今からちょうど30年ぐらい前、東芝がおかしくなったときに、花巻に勤めていた人たちがみんな分散されてしまった。その人たちがちょうど今お父さんですよ。もう転勤による大変な思いを子どもにさせたくないということで、地元就職の調子が非常に良く、いい傾向にある状況です。やはりあとは給料の面などが非常に大変です。これからがどうなっていくか少しわからないというところについてですが、以上です。

【佐々木博委員】昨日、観光協会で講演会、勉強会がありまして、障がい者の雇用ということで、五つの会社の方々が実例をお話していただいて、それを聞きに来た各企業の方々からの質問が相次いで予想外の反響がありました。それで障がいの度合いなどはいろいろあるでしょうが、今この会場でもずいぶん意見が出ていました人手不足というのはもう慢性化していて、欲しくても人が来ないというのはもう現実になっておりまして、そうなったときに、一つはシルバーの方、もう一つは障がい者の方に我々がもっと目を向けていく必要があります。実は観光協会ではもう2人勤めておりまして、2人とももう20年以上に勤務していただいております。ナンバーワンというより、オンリーワンでこの仕事をやらせたらうちの会社においてはトップだよというのがその2人の存在であります。だからその社員を生かすも殺すも経営者であると。あるいは周りの社

員の配慮が必要でもありますが、特にこういう人手不足のときにはそういった方にも目を向けなきゃいけないので、花巻市にお願いしたいのは、そういうカップリングの場みたいなものを作っていただければ、各中小企業さんはすごく関心を持っていることでありますので、その点をお願いして終わりたいと思います。

【中村良則会長】他にはいかがでしょうか。もしなければ大変率直で大切な視点が提起されたと思います。これを糧にして反映する形で計画を作っていただければと思います。それでは以上をもちまして本日の議事は全て終了いたします。委員の皆さまどうもありがとうございました。

(6) 閉会

【伊藤秘書政策課長補佐】委員の皆さま、長時間にわたり、ありがとうございました。これをもちまして、令和4年度第2回花巻市総合計画審議会を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。